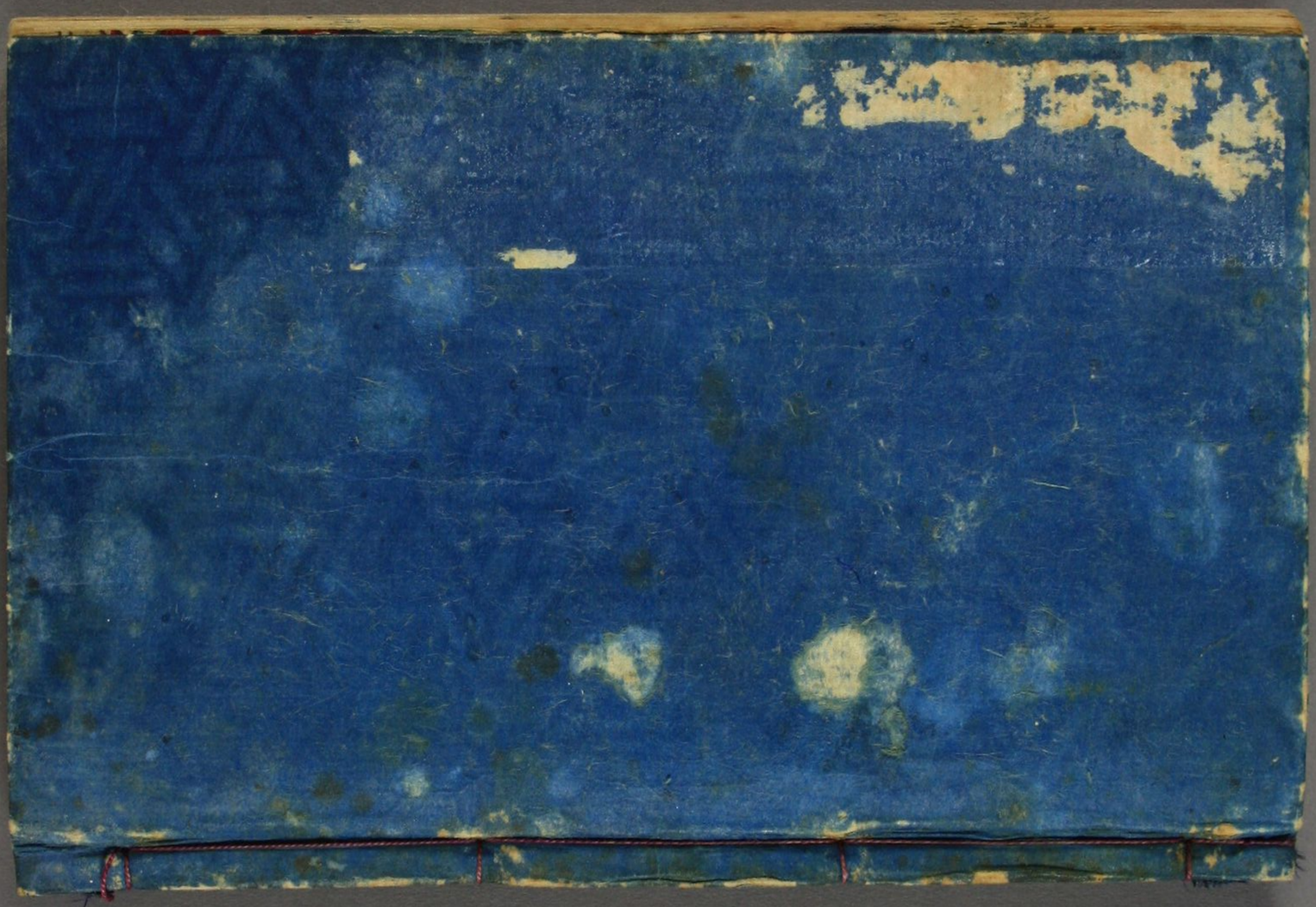


初御上

一

文久四年所者發兌

作者 柳亭種彦
板元 紅英堂
畫工 梅蝶樓國貞

物皆對ある事能ず室町殿花の御所を造營あれバ當時蝴蝶といふ處女ありて野を家として一生の榮華を夢と悟り顔實ハ義烈の婦なりしとぞ其まゝ蝶を一對の秋津虫と名を負ふる山媛ありて其の青秋之坊が發句にもよめるごとく

きのふのまゝせんだつひめかへひかへる本とたえなく手向もせられぬ出没不測の衣物と後なきものなりしといふ話善惡好女品異なれども妖艶非常の叟義人が之忠臣義侠交出る小説にて勸懲の意に叶ねて例の造紙に物せんとす其名を紫文くの假名と心なりと聞熟なるが通りがよいと此ハ板元の意に随せる但し源語の胡蝶の巻首

やよひのそつかあすけのかとしとあるのに恰よく當り遅櫻せい咲初る頃時好後のデモ作者なりとのきこと知かいりのはつなるを我面白がりて書綴ぬるをかんしん人然るを可笑かるらめ

室町源氏胡蝶巻

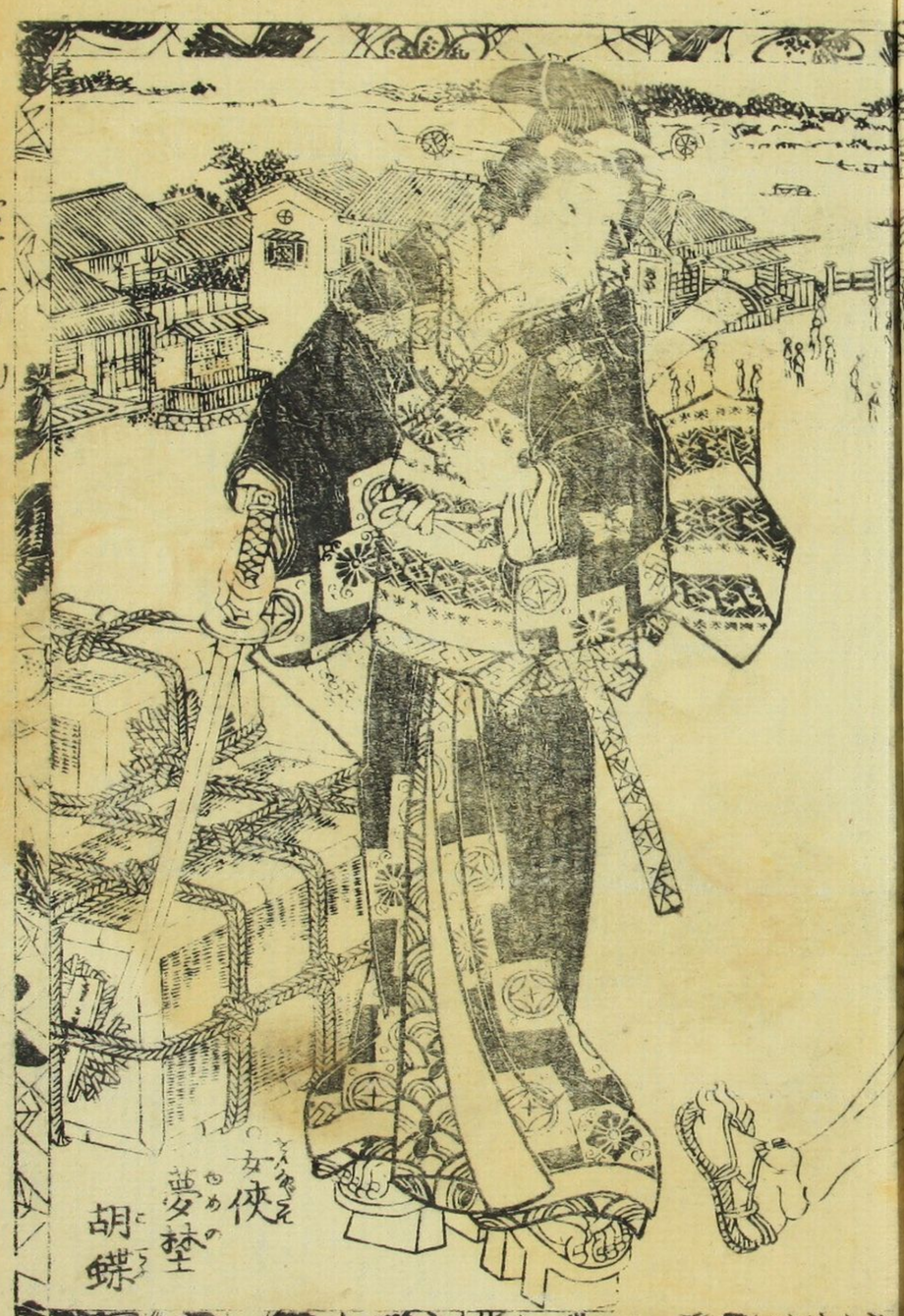
柳亭種彦作

梅蝶樓國貞畫

上

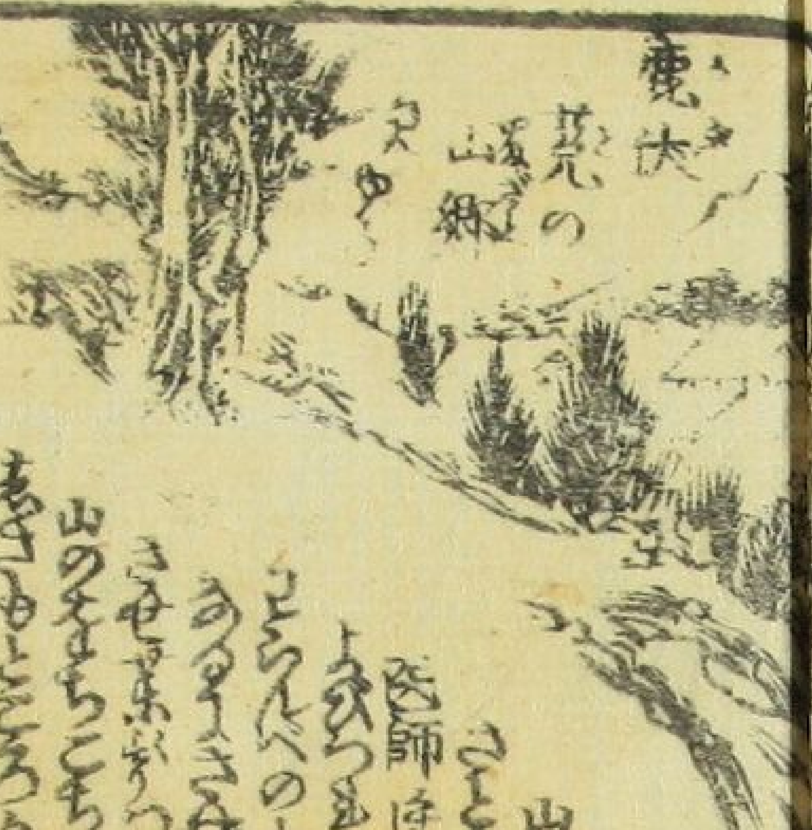
（蔵書印）

舟子
筑紫志摩十七
山媛
秋津


女侠
夢埜
胡蝶

馬子
荷馬

乳母 若菜



[illegible]

蝶

種彦作 國貞画

本家 實母散

中橋南傳馬町東側 千葉堂茅輔製

柳蔭月朝妻（やなぎかげつきのあさづま） 六編迄出板 山々亭有人作 梅朝楼國貞画

藪黄鶯八幡不知（やぶうぐひすやわたのやぶしらず） 五編迄出板 山々亭有人作 錦朝楼芳幾画

阿玉ヶ池櫛月形（おたまがいけくしのつきがた） 初編より追々出板 山々亭有人作 一陽斎豊國画

地本錦繪團扇問屋 紅英堂 蔦吉

初編下
蔦吉板

〻貞画

小ふ乃まき 下

丙午新[illegible]

九曜文庫

明治七年甲戌陽春開板標目

傾城化粧萬年嶋田　八編　春水作　十一編　國貞画

室町源氏胡蝶巻　卅三編　種彦作　出板　國貞画

鼠祠通夜譚　八編　種彦作　出板　國貞画

童謡妙々車　二十九編　種彦作　出板　國貞画

漢傳幼日記　廿編　春水作　出板　國貞画

七婦き葛飾譚　十編　種彦作　出板　國貞画

新局九尾傳　十三　春水作　出板　國貞画

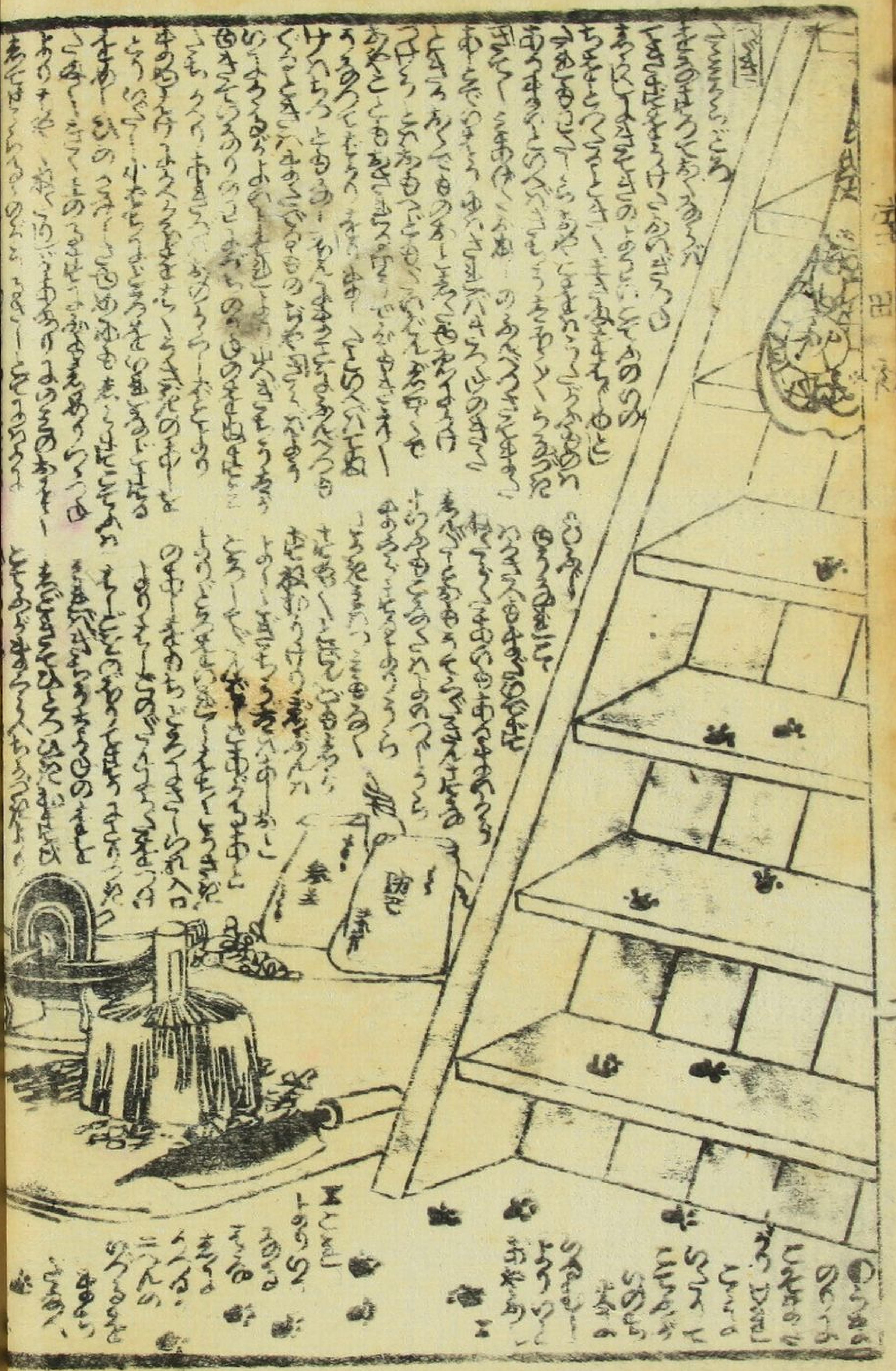
筆海四國聞書　十二　種彦作　出板　國貞画

月鶏墨画稿　十五　種彦作　出板　國貞画

花封蒼玉章　十編　種彦作　大尾　國貞画

八犬傳犬の双紙　五十五　柳亭作　出板　國政画

南傳馬町壹丁目
蔦屋吉蔵板



二編上

室町源氏胡蝶巻　柳亭種彦作
化梅蝶楼国圖
上

九曜文庫

菊は花の隠逸なるものなり此故に盛久しく是彼細く長くとらへ譲に相協へり此草紙も一旦の場當りを強て好まず永く發行よ售るゝ。そ重採文章其脚色も實を主とし華を容とし。浮カブキの筆を憚り徐々と著始つまりは用ふ人物最鮮く。同じ山家の段のみにて二帙より溢る。上下の本編の結ぶ。母子二人に成させし継いも程の有りのこと。自己ながら感心しみる不案しるまゝは纖糸に許多の見物引寄る。蝶々つるゝの搦めなせり柳も同じ糸なからむ。

三編四編と出販せ。其間を忘らずおそりに雲顔をもを繋ぐむうの書留ぎよいと掛して閲歴の小言に聞耳つくしには蝶々の譚も若蝶々しくめく榮しめよ見顧あらずば夢つくさせとぞ。幸福あまたらんことを御與のさわぎを只顧冀へり。

文久四年新春刊行

柳亭種彦

かせ山
法花寺村
木津
六條三筋町傾城
鹿背山原八山城泉河
足利通詮卿息女
花園姫

笠置寺
大和田
浮人 星影輝次郎
笠置山の 嬌賊 雲霧

高尾
あたご路
南天ぐろう
宝田
忠直入道
廣沼肥後掾
忠教

摂野湯治場

柳亭種彦作　梅蝶樓國貞画

實母散

柳蔭月朝妻
四編より　山々亭有人作
九編迄　梅朝樓國貞画

藪黄鶯八幡不知
山々亭有人作
錦朝樓芳幸画

二編下

小てふ乃まき 下

為永春水録

久貞画

九龍文庫

如在

三編上

梅蝶樓國貞画
卯三重彩作

曽我會稽山の浄瑠璃ハ晝夜十二時を一部とし青柳硯の庭中を於縫ヶ運歩て道行の一段を済せり此ハ其類に倣くに非ざれど既に二編の序にもいひしが三編も猶麻伏兎の山の閑居の話着終まで其ハ初より設しあるで不慮断まで長くあれバ我ながら呆果る毎々同じ人物風色無厭々して踈をおもひたれど初會ハ私語もとぎれ希珍しうらねど熟涂とあるまじが弥愛悦さぞ古今の人情らしくもあらで長艶書ハ妄語と知ねども憎らしぬに准へて萬一棄あらぬ主顧もあらんかと支路の話を交ぜ押きらうれど四編ハ必鳥毛虫が蝶に化したる縷くさ趣向綴るを俟せらへかしと爾

文久四春新版

柳亭種彦

室町源氏胡蝶巻

柳亭種彦作

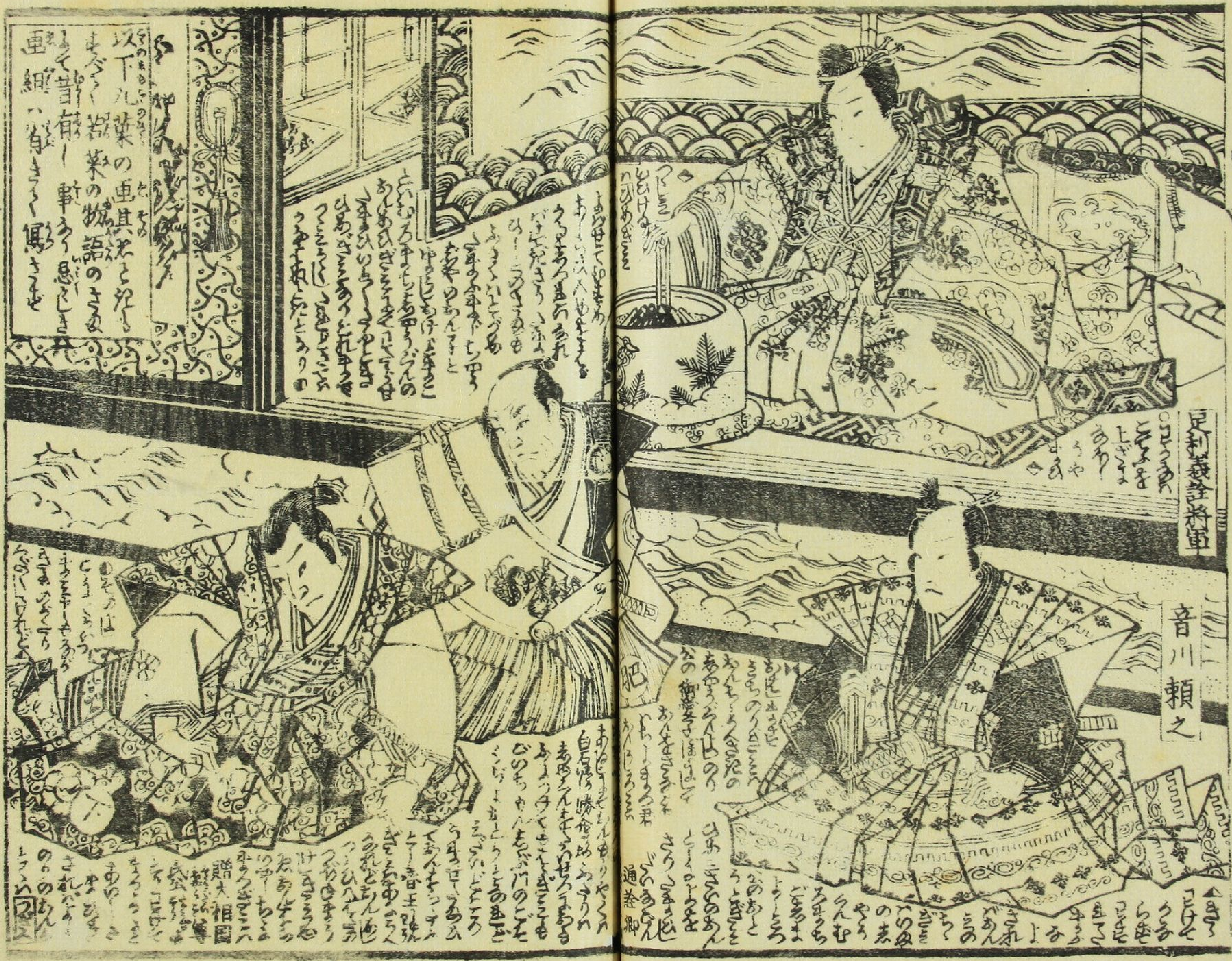
梅蝶楼画圖

上

足利尊氏将軍

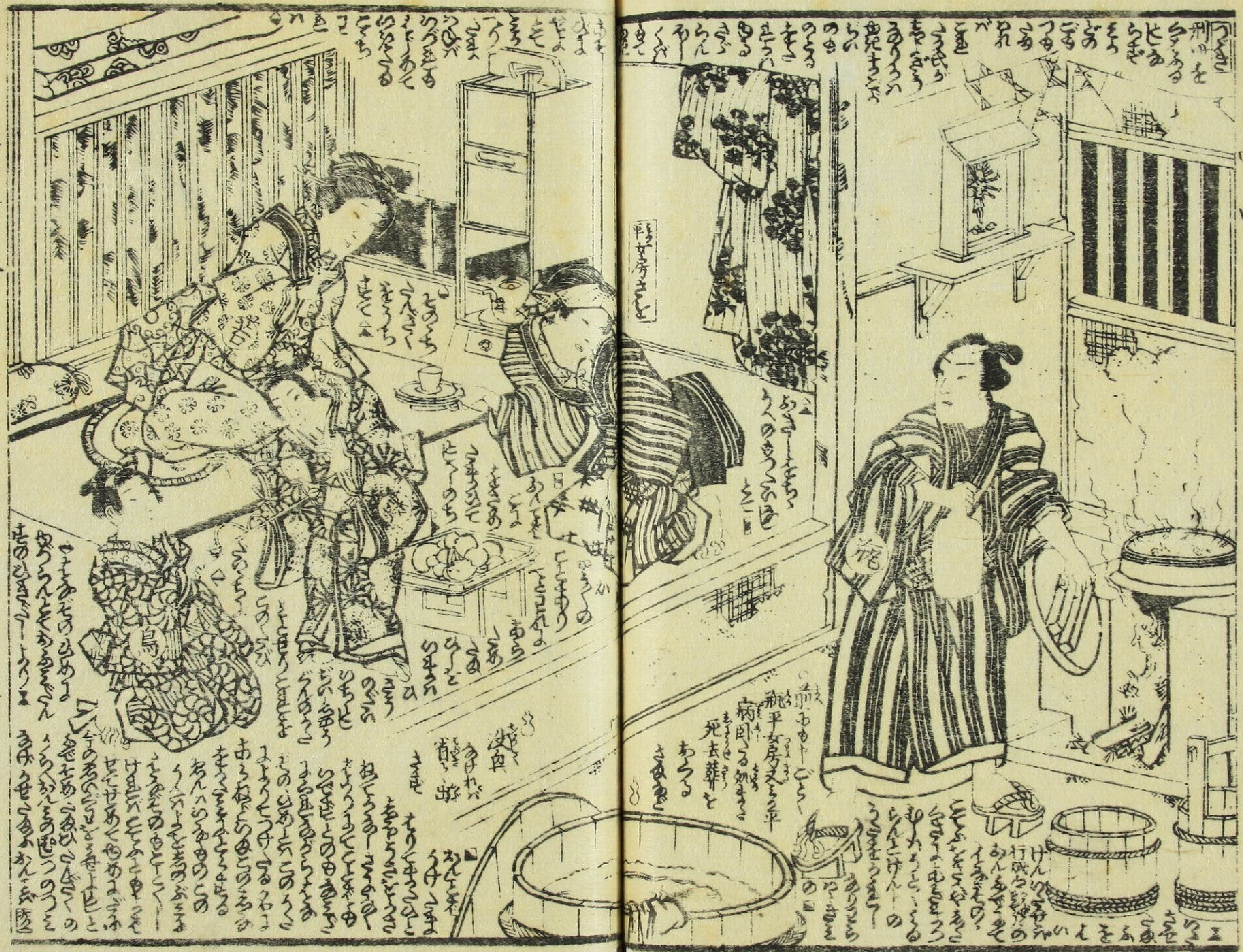
喜代松君

白石盤五郎
半兵衛妻千代


足利義詮将軍
音川頼之

若

北向河豚四郎



種彦作
國貞画

本家 實母散

さんぜんさんご 中橋南傳馬町東側 千葉並芳輔製

柳蔭月朝妻 六編近日出板 山々亭有人作 梅朝楼國貞画

藪黄鶯八幡不知 五編近日出板 山々亭有人作 錦朝楼芳虎画

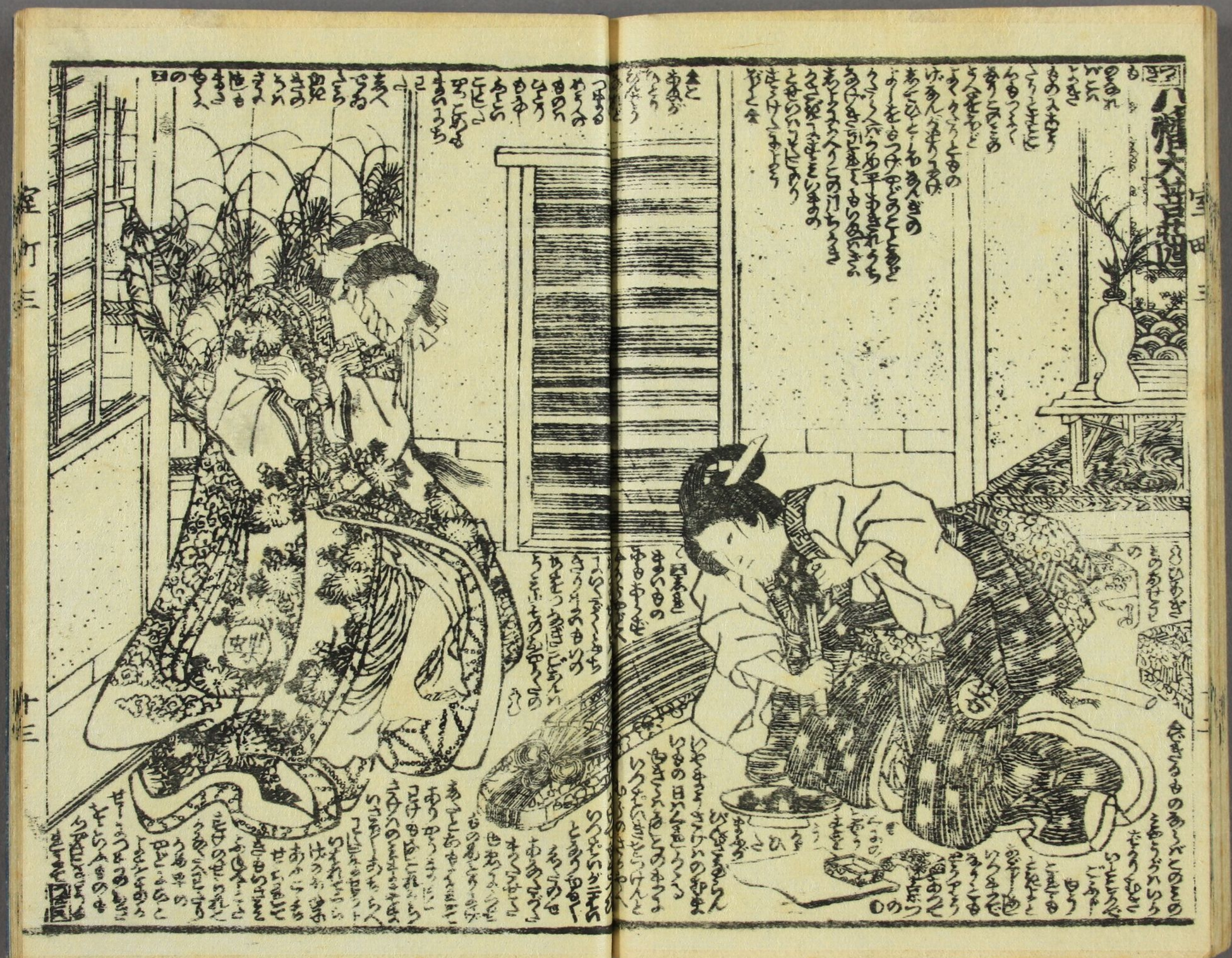
阿玉ヶ池櫛月形 初編ヨリ追々出板 山々亭有人作 一陽斎豊國画

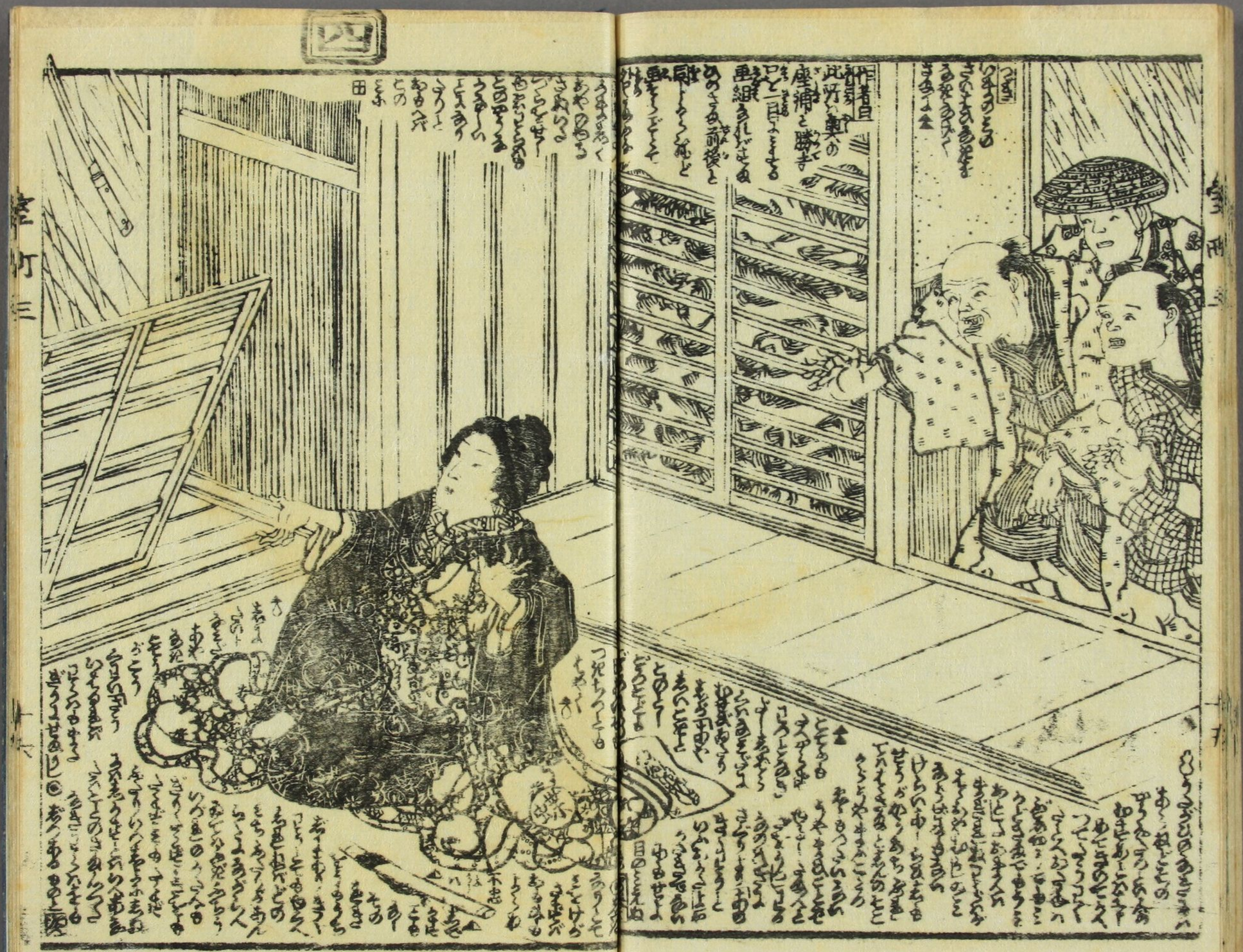
地本錦繪團扇問屋 紅英堂 蔦吉

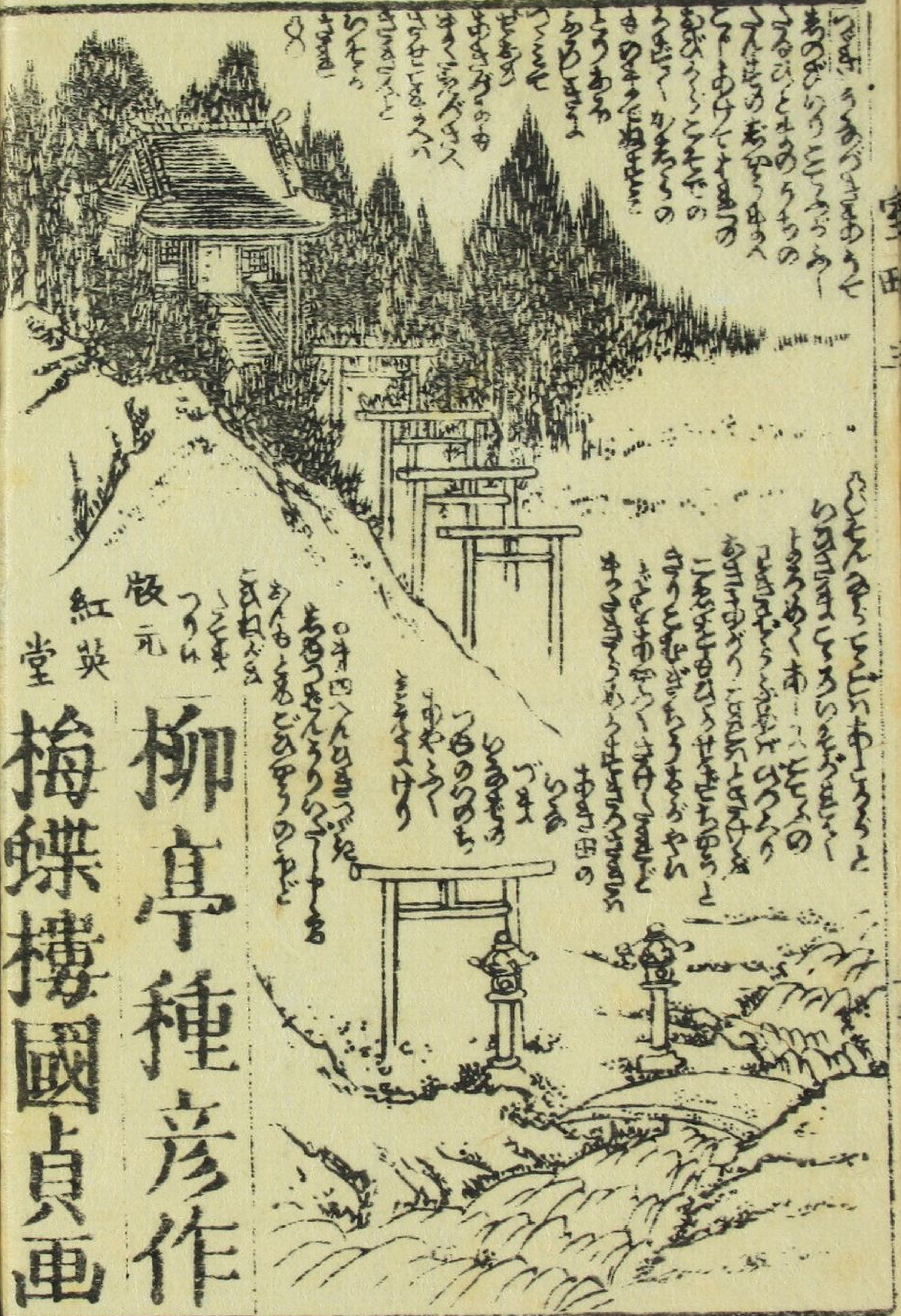
三編下

小ふ乃まき 下

九曜文庫







明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋田　十八編 十九編　出板　春水作　國貞画

新局九尾傳　十三　出板　春水作　國貞画

室町源氏胡蝶巻　廿三　出板　種彦作　國貞画

筆海四國聞書　十三　出板　種彦作　國貞画

鼠祠通夜譚　八編　出板　種彦作　國貞画

明鵄墨畫廓譜　十五　出板　種彦作　國貞画

童謡妙々車　二十九　出板　種彦作　國貞画

花封蕾玉章　十編　大尾　種彦作　國貞画

薄俤幼日記　廿追　出板　春水作　國貞画

八犬傳犬の双紙　五十五　出板　柳亭作　國政画

七ふしぎ葛飾譚　十追　出板　種彦作　國貞画

南傳馬町壹丁目
蔦屋吉藏板